

も・み・じ

97



発行：放送大学福島学習センター
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<http://www.ouj.ac.jp>

—もみじの由来—

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

お知らせ

◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターウェブサイトに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

システムWAKABA

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

福島学習センターホームページ

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/>

◆学習センター閉所日について

毎週月曜日・4月29日(金)～5月5日(木)

あわせて『利用の手引』の日程表、もしくは福島学習センターウェブサイトのセンタースケジュールもご確認ください。7月以降の臨時閉所日については、次号の『もみじ』でお知らせします。

◆システムWAKABA等の不正利用を防ぐためパスワード変更をお願いします。

在学生の方：初期パスワードのままですと、システムにログインできなくなります。

ログインできない方は学生サポートセンター(電話：043-276-5111)・教務課教務係(e-mail：kyomuka@ouj.ac.jp)・学習センターにご連絡ください。

新入生の方：速やかに、初期パスワードを変更してください(システムWAKABAログイン後、トップ画面の「パスワード変更」で変更できます)。

◆機関誌『もみじ』及び『利用の手引き』の配布方法について

配布方法については、福島学習センターウェブサイト内の「機関誌紹介」及び「各種手続き」(下記URL)に配布方法が掲載されています。配布希望者の方はウェブサイト参照の上、お手続きをしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/procedure/>



「批判的思考」を鍛えよう

福島学習センター所長 千葉悦子

春風が心地よい季節となったこの時季に入学した皆さんを心から歓迎し祝福いたします。それぞれに目標や目的、夢や「思い」をもって入学を決断されたことでしょう。さまざまな困難があろうかと思いますが、熱意と粘り強さで乗り越え、それぞれの目標を実現されるよう願っております。皆さんの勉学を精一杯お手伝いいたします。

大学で学ぶにあたって、私が大切だと思っていることを三つほど述べたいと思います。一つ目は「批判的に摂取する」ということを大事にしてください。放送大学の学生の皆さんは、学ぶことに熱心ですが、その反面、放送授業やマークシート式の試験では、どうしても受け身の学習になりがちです。そこで、講義や教材テキスト・著書・論文などを鵜呑みにするのではなく、「どうして」「おや」「すごい」「なるほど」などと「意識する」ことに努めてください。

これを批判的思考とか、批判的学習と言います。つまり知識や情報を受容しただけではなく、批判的な思考を働かせて自分の頭で判断することです。

これはなかなか言うほど簡単なことではありません。インターネット社会ですから必要と思えば必要な情報はすぐにアクセスできます。しかし、誰もが簡単に発信できるので、間違った情報も沢山あります。そのまま受け入れるのではなく、「まてよ」、「本当か」と立ち止まってみることで、立論の根拠は何だろう、立論は本当に妥当か、それとは異なる立論はありえないのかなどなど考えを深めてみましょう。

それから、二つ目ですが文章を書くということにも努めてほしいと思います。「批判的に学ぶ」ということと重なるのですが、「書く」という行為は、見たり、読んだり、聞いたりするのとはまた違います。自分の考えが明確でないと書けません。自分の考えをある程度論理的に、筋道立ててみないと書けないのです。このように、文章を書くことで、論理的に思考する能力が鍛えられます。学びの質が変わると言ってよいでしょう。

しかし、放送大学の学習方法で批判的・論理的に思考する力量を伸ばすのはなかなか大変です。他者との相互の学び合いのなかでこそ、自分の問題意識や学びの理解が深まるからです。その点、面接授業は他の学生とともに学ぶ双方向型授業で教員との交流が深められる貴重な機会といえます。また、単位にはなりませんが、ゼミやサークル活動もお勧めです。福島学習センターでは客員教員によるゼミがいくつも行われています。テキスト購読やテーマを設定して意見交換するゼミなど、日頃の個人での学びとは異なって、ともに学び合う楽しさを感じられる絶好の場だと思います。所長カフェでは学生の問題関心や学習成果を話題提供してもらい、それをめぐって議論を交わすかたちで行っていますが、時間が経つのも忘れる楽しい時間です。対面での学び合い、交流の機会を積極的に作ることで、このことにも是非努めてください。このことが三つ目に大切にしたいことです。

有意義な学生生活を送られることを期待しています。

退任のごあいさつ

東日本国際大学経済経営学部教授
山田 紀 浩



放送大学福島学習センター及びいわきサテライトスペースでは、平成末の2年間と令和初頭の3年間の計5年間大変お世話になりました。初年度には教学面で森田所長に手取り足取りで色々面倒をおかけしました。そして2年目からは千葉所長の下で仕事以外にも学会のご紹介を頂いたり、後学の徒としても勉強になりました。ただコロナ禍での移動制限もあり、もう少し先

生のご専門の話を伺いたかったのですが、この名残り惜しさが良いと思うようにしています。両所長ならびに事務局長はじめ職員の方々には色々お世話になりました。5年間ありがとうございました。

ところで授業面では、特に最後の2年間はコロナウイルス感染症パンデミックの影響でイベントはことごとく中止になり、放送大学福島学習センター主催の公開講演会も2年連続でできませんでした。しかし反面、少人数ながら、ゼミでの学習は毎回新鮮でした。私のゼミは不人気で学生が多く集まるゼミではありませんでした。ただ2名の方はほぼ毎回お越しくださったのですが、受講生が少ないことを良いことになり勝手に授業をしてしまったこともありました。タイトルから遥かにかけ離れた内容にお付き合いくださったこともあります。大学周辺の歴史と探索で歩いたこと、大学祭での学生発表の聴講に行ったこと、大学の私の研究室でお茶のみ談義をしたことなど、ゼミ生と過ごした時間は忘れないと思います。また私の退任間近に新しく加わった方もいらっしゃいます。薄学の話を楽しみと来てくださったことには感謝しかありません。これからいわきでは若くて学生に人気のある南雲先生がお引き受けくださります。引き続きそしてたくさんの方々で賑やかに学習していただければと思います。

今回のパンデミックは社会システム全体の転換期の様相を呈しています。大学の授業も対面とオンラインが併用されています。また企業活動においてもオンラインミーティングが急増しています。実はこうした社会的機能が急変する以前から、放送大学のスタイルは先駆的であったのかもしれませんが。その社会的意義と使命は大きいようです。激変している社会を先導すべく放送大学、そしてみなさまの今後益々のご発展を祈願いたします。

3年間ありがとうございました

福島大学共生システム
理工学類教授
樋口 良 之



福島学習センターでゼミをしてきました。ゼミは単位認定を伴わない対面授業で、センターの学生のみなさまであれば、誰でも自由に参加できます。この3年間、私のゼミに出席してくれる方がおられるのか、毎回、いつも不安でした。しかし、いつも10人前後の方が集まってくださり、ゼミ運営を支えてもらい、学生のみなさまに感謝します。と同時に、私のゼミ運営が、参加の

みなさまの積極性を引き出し、学術上や実務上の創造によるみなさまの成長に寄与したか悩みます。

私は工学を専門とし、文理融合的な科目、例えば、科学技術史、科学技術政策論を担当する経験も長くあり、それらの科目はこれまでの勤務先で人気がありました。そこで、ゼミを担当するにあたり、まずは、科学技術史のシリーズを始めようと思いました。科学技術史でゼミを行ってみて想像以上に素晴らしかったのは、ゼミ参加のみなさまが人生経験豊かで専門性を持たれ、みなさまへ教える場というよりは、みなさまの意見を拝聴し、新たな知見をいただき、それらを私たちの間で共有する場となったことです。

半期ごとに教員ごとに統一的テーマで行うゼミは、半期ごとの内容を繰り返してはダメということで、私の苦惱は続きました。大学の授業は、同じ科目を毎年担当するので、時代に合った内容に改善することはありますが、基本的な内容はそれほど変わりません。半年ごとに新しい科目を新規開講する感じで、生半可なものではなく厳しいものでした。これまでの勤務先で人気の授業でもあった倫理学を意識したものにしたたり、思い切り自分の専門である機械学習をテーマにしたりしました。そして、3年間(6半期)で新規6科目を開講し続けたような私は燃えることができました。これまでの就業の中で、燃えるものを持ち続け、その姿を周囲へ見せるだけでも価値があると思ってきました。よく燃えたことは、少なくとも良かったことと振り返ります。

充電が必要な自分自身、取り巻く業務、周囲のみなさまを見直し、この客員教授の務めを終わりにする選択をしました。ゼミとそこに集まっていたいただきましたみなさまの懐の深さに感謝し、放送大学の学生のみなさま、福島学習センターの所長と事務局のみなさまへ深い感謝をお伝えし、お別れの言葉といたします。

「新任のあいさつ」

福島大学名誉教授
五十嵐 敦



この度、放送大学福島学習センターで客員教員を務めることになった五十嵐です。

昔々、福島学習センターの設立後、客員教員として8年間お世話になりました。今回15年ぶりに古巣に戻ることになりました。当時、学生の皆さんとのつながりで、私自身の世界も広げることができたこと感謝しております。

職業心理学を専門に福島大学の教員として30年間勤めておりました。産業保健や安全衛生、そしてその土台となる人材育成(広義のキャリア発達)などについて、研究や講義を行っておりました。また、その背景にある家族や社会・経済の動向なども視野に入れた実践、心理臨床や相談活動におけるさまざまな課題とキャリアコンサルタントなどの支援にも関わっております。

放送大学では、学生の皆さんの興味関心と生活フィールドからの情報なども生かしていただきながら学びを進めたいと思っております。心理学は身近でポピュラーな学問ではありますが、学問であればこそ、その学術性やアプローチの在り方が問われます。大学としての学びを大切にしながら、皆さんと研鑽を積んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

「新任のあいさつ」

東日本国際大学
経済経営学部准教授
南雲 勇多



この度、放送大学にて客員教員をつとめさせて頂くことになりました南雲勇多と申します。主には福島学習センターのいわきサテライトスペースにて担当させて頂くことになると思います。どうぞよろしくお願い致します。

本務校の東日本国際大学では「グローバル市民教育論」や「地域課題解決学」といった授業を担当しています。自身の実践・研究活動としては、主に開発教育や国際理解教育などに関わりながら、人権や文化(多文化共生)などをキーワードに、参加型学習を軸とした教育分野にこれまで取り組んできました。フィールドも学校教育に限らず、国内の地域づくりの現場や、開発途上国と呼ばれる地域の国際協力の現場などに足場をおいてきました。

関連して子どもの権利論に関する実践・研究にも取り組んでくる中で、認定NPO法人国際子ども権利センターの理事や子どもの権利条約ネットワークの運営委員など、市民活動の分野にも携わってきました。

いわきサテライトスペースでのこれまでの面接授業やこれから担当させて頂くゼミなどでは、その前者のグローバルやローカル(とそのつながり)、また文化や学び・教育という視点と、後者の子どもの権利という視点が交差する領域にフォーカスし、テーマとさせて頂いています。

子どもはもともと多様です。さらには、グローバル化や多文化化の中で地域の子どもの様相も多様化しています。そのような子どもの多様性と多様化をふまえ、地域の子どもの学び・育ちの場や教育をみてみた場合に、様々な課題が浮かび上がってきます。多文化化しゆく地域(=多様な子どもが暮らす地域という場)の教育課題は地域課題でもあり、地域づくりとも関連します。一方で、既存の教育の枠組みでそうした課題に対応するだけでなく、これまでの教育観や実践のあり様などを問い直し、教育自体の多様化への取り組みやその多様性の保障が同時に求められていると思います。教育「方法」を多様化していくだけでなく、その教育現場のあり方への問い直しもふまえ、近年ではオルタナティブ教育やNPO立(市民立)の学校やスペースも増えてきました。また、地域の教育課題へのNGO/NPOといった市民活動も長年取り組まれてきています。

そうした多様な子どもたちの学びの権利について、さらにはその権利実現のための実践の意義や課題について、皆様と一緒に考え、また学び合えるプロセスを楽しみにしています。よろしくお願い致します。

令和4年度 第1学期 ゼミのお知らせ

一ゼミの受講について一

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんと対話をしながら授業を行います。1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。
※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、館内に掲示しお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。

テーマ 「猪苗代湖畔の考古学」



會田 容弘 先生

会場 福島学習センター

講義概要

私たちは2001年から継続して猪苗代湖畔に位置する笹山原遺跡の発掘調査を行っています。土の中から出てきた人間が作り使った資料をもとに、過去の人間の行為をどのようにすれば復元できるかを研究しています。発掘調査を計画し、実施し、資料を整理し、そしてその資料からどのようにして「過去の人間の行為」に迫ることができるか、実際の調査と資料にふれながら授業を進めます。

- 4月9日(土) 13:00~14:30 2022年度の発掘調査計画。2021年の調査成果をもとに、調査計画について説明します。何を明らかにするために掘るのか。そのために、どのような準備が必要なのか。それらを説明します。
- 4月16日(土) 13:00~14:30 考古学研究の基礎：何を明らかにするために、どのようにして発掘調査を行うか。「彼らはどこから来て、ここで何を、そしてどこに去っていったか。」という問いに答えるために。
- 5月7日(土) 13:00~14:30 笹山原遺跡を理解するために、予備知識として、日本の先史時代の知識が必要です。旧石器時代、縄文時代、弥生時代の概説を行います。
- 5月28日(土) 13:00~14:30 笹山原遺跡を理解するために、予備知識として、日本古代史の知識が必要です。古墳時代、飛鳥時代、奈良時代、平安時代を考古学的に説明します。
- 6月4日(土) 13:00~14:30 2022年の笹山原遺跡の発掘調査成果をお話します。発掘調査のエピソードなどを交えてお話します。
- 6月11日(土) 13:00~14:30 発掘調査から帰ってきて、出土資料の整理作業があります。水洗が終了し、ネーミングが終わった資料を持ってきて、土器の接合作業を行ってみます。
- 6月18日(土) 13:00~14:30 笹山原遺跡の土師器生産についてお話します。実物資料を使って、資料観察法などを説明します。

テーマ 「働く人々とその心理」



五十嵐 敦 先生

会場 福島学習センター

講義概要

職業生活に関連するさまざまな側面について、心理学の視点から取り上げます。わたしたちが、健康で安全に働き続けるための課題に加え、その土台となる日常生活のあり方との関連なども視野に入れながら、キャリア形成とメンタルヘルスを軸に、基本的な理論や研究とその動向など話題を共有したいと思います。

- 4月10日(日) 13:00~14:30 産業組織心理学とその世界
- 4月23日(土) 10:00~11:30 産業組織心理学と最近の動向
- 5月21日(土) 10:00~11:30 キャリア発達とその支援
- 5月22日(日) 10:00~11:30 キャリアに関する最近の研究動向
- 6月5日(日) 15:00~16:30 人材育成と職場マネジメント
- 6月19日(日) 10:00~11:30 安全衛生と健康管理
- 7月2日(土) 10:00~11:30 産業・組織分野における心理的援助と課題

テーマ 「私たちが知らない二つのドイツ -ナチスドイツと社会主義ドイツ」



大黒 太郎 先生

会場 福島学習センター

講義概要

経済的繁栄、民主的な政治運営、寛容な社会、そして多くの移民・難民の受け入れ—私たちがよく知るドイツイメージです。しかしドイツには、私たちがよく知らない二つのドイツ、すなわち独裁国家としてのナチスドイツと、社会主義体制としての東ドイツの歴史があります。本ゼミでは、1/2学期1年をかけてナチスドイツと東ドイツのドイツ史における2つの体制の様々な側面(日常生活から体制運営まで)を、文献講読と映画鑑賞の2本柱で幅広く学びます。

- 4月9日(土) 10:00~11:30 イントロダクション：みなさんの「ドイツ」イメージについて、意見交換します。受講者を2グループ(ナチスドイツGと東ドイツGに分けて、今後のゼミでの担当を決めましょう。1学期は「東ドイツ」、2学期は「ナチスドイツ」を扱います。
- 4月24日(日) 10:00~11:30 東ドイツに関する概説書を読む：河合信晴『物語 東ドイツの歴史—分断国家の挑戦と挫折』(中公新書、2020年)などを読む。(ナチスドイツを扱うグループについては、第1回目のゼミで内容と小テーマを紹介します)
- 5月14日(土) 10:00~11:30 映画鑑賞と討論①：映画『善き人のためのソナタ』(2007年)：東ドイツ秘密警察の職員が、監視対象である反政府活動家夫婦のピアノ演奏に惹かれ、誠実な仕事と人としての生き方との間で揺れ動く…
- 5月28日(土) 10:00~11:30 映画鑑賞②と文献講読：映画『僕たちは希望という名の列車に乗った』(2019年)／ガルスカ(大川珠季訳)『沈黙する教室 1956年東ドイツ—自由のために国境を越えた高校生たちの真実の物語』(2019年)

令和4年度 第1学期 ゼミのお知らせ

一ゼミの受講について一

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんと対話をしながら授業を行っていきます。

1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。

※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、館内に掲示しお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。

- | | | |
|---|-------------------------|--|
| 5 | 6月11日(土)
10:00~11:30 | 映画鑑賞と討論③:『ブレイク・ピーダーズ』(2017年)ブレイクダンスは社会主義化できるか?ダンスに自由と希望を見た東ドイツの若者たちのストーリー。 |
| 6 | 6月25日(土)
10:00~11:30 | 映画鑑賞と討論④:『グッバイ・レーニン!』(2003年):東ドイツから統一ドイツへのプロセスを、東ドイツの若者はどう経験したか?一つの親子と一つの国家の歴史が交錯するコミカルで、かつ真剣な「統一」の歴史。 |
| 7 | 7月3日(日)
10:00~11:30 | 文献講読:川崎修『アンゲラ・メルケルの東ドイツ-『劣化する社会』を生きる人々』(2022年):東ドイツ出身の統一ドイツ首相アンゲラ・メルケル政権のもとで、東ドイツ地域と人々の生活はどう変わったかを問う。 |

テーマ 「英語を通して考える

Sustainable Development Goals



福富 靖之 先生

会場 福島学習センター

講義概要

4年前このゼミで、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)に関して国連が発表しているWhy it matters(なぜ大切か)を読みました。今学期は、それぞれの目標がコロナ禍にある現在どのような進捗状況にあるのかを、同じく国連が発行しているThe Sustainable Development Goals Report 2021を読むことで確かめていきます。世界規模でのパンデミックがSDGsの達成可能性にどう影響しているのか、また今後われわれは何を心がけるべきなのかを考えてください。資料は<https://unstats.un.org/sdgs/report/2021/>から入手できます。

- | | | |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 4月10日(日)
10:00~11:30 | Goal 1 : NO POVERTY(貧困を終わらせる)
Goal 2 : ZERO HUNGER(飢餓をなくす) |
| 2 | 4月17日(日)
10:00~11:30 | Goal 3 : GOOD HEALTH AND WELL-BEING(健康と福祉)
Goal 4 : QUALITY EDUCATION(質の高い教育) |
| 3 | 5月15日(日)
10:00~11:30 | Goal 5 : GENDER EQUALITY(ジェンダー平等)
Goal 6 : CLEAN WATER AND SANITATION(きれいな水と衛生) |
| 4 | 5月29日(日)
10:00~11:30 | Goal 7 : AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY(安価でクリーンなエネルギー)
Goal 8 : DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH(働きがいと経済成長) |
| 5 | 6月5日(日)
10:00~11:30 | Goal 9 : INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE(産業、技術革新、そして社会基盤)
Goal 10 : REDUCED INEQUALITIES(不平等をなくそう) |
| 6 | 6月12日(日)
10:00~11:30 | Goal 11 : SUSTAINABLE CITIES(住み続けられるまちづくり)
Goal 12 : RESPONSIBLE CONSUMPTION & PRODUCTION(つくる責任と使う責任) |
| 7 | 6月26日(日)
10:00~11:30 | Goal 13 : CLIMATE ACTION(気候変動に対する対策)
Goal 14 : LIFE BELOW WATER(海の豊かさを守ろう) |

テーマ 「子どもの多様性と学びの権利」



南雲 勇多 先生

会場 いわきサテライトスペース

講義概要

子どもはもともと多様です。さらには、グローバル化や多文化化の中で地域の子どもの様相も多様化しています。このゼミでは、そうした多様な子どもたちの学びの権利について、さらにはその権利実現のための実践の意義や課題について、「子どもの権利条約」の観点から読み解き考えていくことを主題とします。

グループワークを用いたり、具体的な事例について映像資料や情報提供をもとに、参加者の方々とともに議論し考えていきたいと思っております。

- | | | |
|---|-------------------------|---------------------------|
| 1 | 4月16日(土)
15:00~16:30 | 「子どもの権利」・「子どもの学びの権利」とは |
| 2 | 4月23日(土)
15:00~16:30 | オルタナティブ教育からみる子どもの多様な学びの権利 |
| 3 | 5月14日(土)
15:00~16:30 | 外国ルーツの子どもとその学びの権利① |
| 4 | 5月28日(土)
15:00~16:30 | 外国ルーツの子どもとその学びの権利② |
| 5 | 6月4日(土)
15:00~16:30 | 外国ルーツの子どもとその学びの権利③ |
| 6 | 6月18日(土)
15:00~16:30 | セクシャルマイノリティの子どもとその学びの権利① |
| 7 | 7月2日(土)
15:00~16:30 | セクシャルマイノリティの子どもとその学びの権利② |

学生サークル紹介

福島登山サークル



登山サークルでは、登山を通じ、体力、気力を養うとともに仲間意識の高揚と親睦を図ることを目的として活動を行っています。また、気候や環境を肌に触れ、動植物の観察などを通じ自然の理解を深めます。名湯を探し入浴するのも楽しみの一つです。

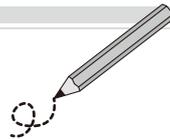
山行は、ほぼ月1回、県内各地の山を中心に、1～2回は宿泊し日本百名山にも登ります。

令和3年は、コロナ感染を注意しながら4月泉ヶ岳(宮城)、5月燧ヶ岳・半田山、6月猫魔ヶ岳・雄国沼、9月背炙山、11月鬼ヶ城山、12月片曾根山に登りました。(7月浅草岳・8月鳥海山は悪天候により中止)

その中でも、雄国沼は、コバイケイソウ(数年に1回一斉に花を咲かす)とニコウキスゲの花の競演で圧巻でした。また、12月は、例年どおり山頂で芋煮会を実施しました。個々人の希望と体力にあった山を選んで登山を楽しめればと思っています。

入会希望 問い合わせ先(幹事) 斎藤芳久 斎藤 芳久 TEL/FAX024-546-8676 携帯080-1809-0046 e-mail:saito-y@chive.ocn.ne.jp

会津学知会



会津学知会は在学生・同窓生による放送大学での学びを通し、生涯学習の実践と地域ボランティア活動を目的に活動しております。具体的活動は以下の通りです。

①定例会は、会員が講師となり、放送・面接授業から得た知識や地域の問題をゼミ形式で発表・討論をします。②歴史散策は、地域の歴史をより深く知るための「見学会」です。昨年度は『会津藩主松平家御廟』でした。福島・栃木同窓会の方も参加され、昼食では歓談と情報交換から親睦を図ることができました。③ミニ講演会は、専門的な知識を得ることと双方向での学習体験が目的です。昨年度は『東日本大震災の教訓』(福島県立博物館：筑波匡介)を題材に一般の方も参加されました。

ぜひ、会津学知会活動に興味のある方、ご入会をお待ちしております。

会津学知会ホームページ：<http://aizugakutikai.yaekumo.com>

Book Club



「Book Club」は英米文学作品のうち内外で話題になっている小説などの原書を輪読している同好会です。会の開催は、福島学習センターの英語ゼミの計画に合わせて、第1学期(4月～7月)、第2学期(10月～12月)のそれぞれ月2～3回、土曜又は日曜日に一回90分を目安とし、学内で実施しております。当初には脳死を体験したという実話を素に死、生、愛などを熱く語った内容の『Heaven Is Beautiful』を読了し、5月より新たにF・スコット・フィッツジェラルド著『THE GREAT GATSBY』を楽しむ予定です。この書はアメリカンドリームの本質を実際これほど見事に捉え、それを批判した作品はないと評されている作品です。題名となっているギャッピーは独力で成功した百万長者ですが、その過程で様々な人生を経験し、矛盾を抱えた人物でもあります。生涯の恋人となる既婚のディジーを巡っているいろいろな問題を起こすなど恋愛小説といえる要素も備えていますが、推理小説的要素を兼ねた評価の高い小説です。詳しいことは下記に問い合わせてください。

会長 清田直樹 024-952-2169 事務局 根本芳則 080-1835-3863

事務室からのお知らせ

◆学生証の発行について

福島学習センター及びいわきサテライトスペースでは4月3日(日)14時以降から学生証を交付いたします。次の学生の方は、所属する学習センター窓口で手続きを行ってください。

〔4月に入学(再入学を含む)した学生の方→入学許可書を持参してください。〕

〔学生証の有効期限切れ(全科履修生：令和4年3月末)の方→古い学生証を持参してください。〕

郵送による発行を希望する方は①入学許可書又は古い学生証、②身分証明書(顔写真付き)のコピー、③返信用封筒(長3・宛名明記・切手244円分貼付)を同封のうえ、所属学習センターへ送付してください。

◆通信指導の提出について

4月から登録した科目及び再提出の方は、5月16日(月)～5月31日(火)大学本部必着で送付してください。通信指導問題は基本的に印刷教材と一緒に発送しますが、5月6日までに届かない場合は大学本部(043-276-5111)に連絡してください。提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕を持って作成してください。

提出については、一部の科目を除き、郵送によるもののほか、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web通信指導」が利用可能です。詳しくは、システムWAKABA(「キャンパスライフ」⇒「学内連絡」)をご覧ください。

◆住所等変更届

現住所、連絡先の電話番号に変更があったときは、速やかに手続きしてください(システムWAKABAからも変更できます)。現住所の変更は、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。

◆学生用駐車場について

福島学習センターでは、令和3年10月より、学生用駐車場が大東銀行事務センター手前の郡山開成学園敷地に変更になりました(福島学習センターHP「この学習センターについて」→「アクセス」にてご確認ください)。学生用駐車場を利用するには、利用許可証が必要になります。学習センター事務室で駐車場利用許可証交付願に車種とナンバーを記入し、申請してください。

郵送で申請する場合は、①学生証又は入学許可書のコピー、②放送大学駐車場利用許可証交付願(福島学習センターHP「この学習センターについて」→「アクセス」→「交通案内」に様式有)、③返信用封筒(宛名明記、切手貼付)を同封のうえ、福島学習センター宛に送付してください。



面接授業 開設科目一覧

2022年度1学期福島学習センター開設科目

科目コード	科目区分	時間	科目名	担当講師	備考	実施日	不測の事態
2590018 初級110	基盤科目	1時限～4時限 (9:30～16:40)	新・初歩からのパソコン	菅野 浩子	学生持参:USBメモリ(※市販されている一番安価な物で結構です。)、学生証	4月16日(土) 4月17日(日)	閉講
2591391 中級320	専門科目 社会と産業		人的資源管理	原田 順子		4月16日(土) 4月17日(日)	閉講
2591413 中級320	専門科目 生活と福祉	1時限～4時限 (9:30～16:40)	健康生活論	大西 弘太郎	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。学生持参:筆記用具、ノート等。	4月23日(土) 4月24日(日)	閉講
2591375 中級320	専門科目 心理と教育		ジェンダーとセクシュアリティ	前川 直哉	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。学生持参:筆記用具、ノート	4月23日(土) 4月24日(日)	閉講
2591316 中級120	基盤科目	1時限～4時限 (9:30～16:40)	情報検索入門	和知 剛		5月7日(土) 5月8日(日)	閉講
2591448 中級420	総合科目		メディア・ジャーナリズム論	藍原 寛子	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。学生持参:筆記用具、ノート類	5月7日(土) 5月8日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2591324 中級120	基盤科目 外国語	1時限～4時限 (9:30～16:40)	ロシア語学習への第一歩	グズネットワークマリーナ		5月14日(土) 5月15日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2590182 中級320	専門科目 心理と教育		心理学実験 2	木暮 照正	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。	5月14日(土) 5月15日(日)	閉講
2591359 中級220	導入科目 生活と福祉	1時限～4時限 (9:30～16:40)	調理学-おいしさを求めて-	菊池 節子	受講前の準備学習等:学生持参、保険加入等必ずシラバスをご参照ください。	5月21日(土) 5月22日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2591383 中級320	専門科目 心理と教育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	対人関係の臨床心理	桃井 真帆	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。	5月28日(土) 5月29日(日)	閉講
2591421 中級320	専門科目 自然と環境		ニンジンで学ぶ量子の世界	岸根 順一郎		5月28日(土) 5月29日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2590484 中級320	専門科目 心理と教育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	心理学実験 3	木暮 照正	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。	6月4日(土) 6月5日(日)	閉講
2591430 中級320	専門科目 自然と環境	1時限～4時限 (9:30～16:40)	福島県の地下水と原発汚染水	柴崎 直明	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。	6月11日(土) 6月12日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2591340 中級120	基盤科目 保健体育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	スポーツと健康	柴田 卓	受講前の準備学習等:学生持参、保険加入等必ずシラバスをご参照ください。	6月25日(土) 6月26日(土)	閉講
2591332 中級120	基盤科目 外国語		楽しい英語のリーディング	安田 純子	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。学生持参:事前に配布されたプリント、英和辞書(電子辞書可)	6月25日(土) 6月26日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2591367 中級220	導入科目 人間と文化	1時限～4時限 (9:30～16:40)	いろいろデザイン	小松 太志	受講前の準備学習等:学生持参等必ずシラバスをご参照ください。	7月2日(土) 7月3日(日)	閉講
2591405 中級320	専門科目 社会と産業		村の日本近代史	荒木田 岳	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。教科書指定有。学生持参:テキストをご持参ください。	7月2日(土) 7月3日(日)	Web(Zoom) 授業で開講

※敬称略。学生間の間隔を確保するため通常の定員を15名としています。担当講師の指定がある場合は15名よりも少ない場合があります。また、同日開講の科目がない場合は教室を広く使い定員を多くしている科目もあります。※日程、不測の事態の授業形態については変更になることがあります。

2022年度1学期いわきサテライトスペース開設科目

科目コード	科目区分	時間	科目名	担当講師	備考	実施日	不測の事態
2591499 中級320	専門科目 人間と文化	1時限～4時限 (9:30～16:40)	人間の適応と不適応	森下 剛		5月7日(土) 5月8日(日)	閉講
2591456 中級120	基盤科目 外国語	1時限～4時限 (9:30～16:40)	歌と英米児童文学で学ぶ英語	田中 渡	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。学生持参:筆記用具・英和辞典	5月14日(土) 5月15日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2591472 中級220	導入科目 社会と産業	1時限～4時限 (9:30～16:40)	入門行動経済学	岩戸 謙介	学生持参:筆記用具	5月21日(土) 5月22日(日)	閉講
2591480 中級320	専門科目 生活と福祉	1時限～4時限 (9:30～16:40)	社会保障制度の理解	今野 久寿	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。	5月28日(土) 5月29日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2591464 中級220	導入科目 心理と教育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	実践カウンセリング学入門	原田 真之介	受講前の準備学習等:シラバスをご参照ください。筆記用具以外、特になし。	6月4日(土) 6月5日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2591502 中級320	専門科目 自然と環境	1時限～4時限 (9:30～16:40)	生態系と私たちの暮らし	原田 正光	学生持参:筆記用具	6月25日(土) 6月26日(日)	Web(Zoom) 授業で開講

※敬称略。学生間の間隔を確保するため定員を14名としています。※日程、不測の事態の授業形態については変更になることがあります。

◎科目を登録する際や、授業を受講する前に必ず面接授業のシラバスを確認して、授業の準備をしてください。持参物や、事前の準備学習等の指示があります。シラバスは放送大学HPの最下部に「面接授業 2022年度第1学期のお知らせと授業概要(シラバス)」としてリンクがあります。冊子では「面接授業時間割表[北海道・東北ブロック]」に記載されています。

福島学習センター・いわきサテライトスペース開設科目に係る 面接授業追加科目登録申請について

～まだ空席がある面接授業(スクーリング)について履修者を追加募集しています～

●面接授業について

面接授業(スクーリング)は、教室などで教員から直接受ける授業のことをいいます。面接授業は全て、1科目1単位です。全科履修生は、卒業するために面接授業又はオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。選科・科目履修生は必修ではありませんが、自分の学習したい内容にあわせた面接授業を受講することができます。空席のある科目について追加で科目登録ができますのでご案内いたします。

教科書・参考書について

教科書は講義の中で使用するものです。必ず各自で購入してください。教科書がないと授業だけでなくレポートの執筆にも影響することがあります。

参考書は必ず購入しなければならないものではありませんが、講義を理解するうえで参考になるものです。学習センター図書室で閲覧できるものもあります。

学生教育研究災害傷害保険について

要保険加入の科目は「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄学習センターにて加入してください。

開設科目の確認

- ・面接授業開設科目一覧
- ・面接授業時間割表[北海道・東北ブロック]
- ・放送大学ホームページ
- ・システムWAKABA
- ・学習センター掲示

※福島・いわき以外で開設の面接授業については開設する学習センターに問い合わせてください。

●申し込み方法

空席を確認してください

空席発表 令和4年4月16日(土) 12時

●開設科目の空席状況が発表になります。

学習センター・サテライトスペースの掲示板・ホームページ・電話(024-921-7471)で確認できます。

希望する面接授業の事前申請をしてください

事前申請期間 令和4年4月16日(土)～20日(水)

●郵送または直接来所して事前申請をしてください。 電話・FAX・Eメールによる受付はできません。

	来 所	郵 送
必要なもの	科目追加登録申請書 学生証(学生証持参なら 代理人でも可)	科目追加登録申請書 (学生証写し添付)
申請方法	福島学習センター及び いわきサテライトスペース へ学生証を持参して来所 する	福島学習センターへ封 書の表に「科目追加登録 申請書在中」と朱書きし 郵送

事前申請期間

追加登録発表

追加科目登録受付期間

追加科目登録者を決定します

●事前申請者に対し、申請の結果(可否)を登録開始日の4月21日(木)、10時30分～12時の間に電話で連絡します。

なお、この時間に連絡がとれなかった方は、15時までに024-921-7471まで電話してください。

上記以後、追加科目登録期間が変わります

4月～7月開講の授業：4月21日(木)～科目ごとに定められた追加登録受付
期限日

授業料について

●授業料の支払について

納付は学習センター窓口又は郵送でお願いします。なお、追加科目登録受付期間中、空席が生じている科目については、先着順で受け付けいたしますので、授業料を添えて申し込んでください。

●授業料を郵送する場合

- 【授業料】 ◆現金書留又は郵便為替 5,500円
- 【返信用封筒】 ◆宛名明記
- ◆84円切手添付
- ◆長形3号

2022年度（令和4年度）第1学期

面接授業（ _____ 学習センター
サテライトスペース 開設科目）科目追加登録申請書

学 生 番 号	_____ - _____
---------	---------------

氏 名	_____	
連 絡 先	〒 _____	電 話 : (_____) メー ル :

学生証（写）貼付欄

（郵送の場合は、学生証（写）の添付のない申請書は無効です）

- 一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。
- 追加登録申請書は郵送する前に必ず（写）をとり保管しておいてください。

希望	科 目 コー ド	ク ラ ス	科 目 名	第1回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

備考

— 所長カフェのご案内 —

所長カフェはコーヒー、紅茶を片手に気軽に参加できるゼミです。月1回中下旬の木曜日、13時30分～15時30分くらいで開店します。

「興味関心のあること、疑問に思っていることを自由に語り合いたい」、「調べてレポートにまとめてみたい」、「卒業研究に挑戦してみたい」と考えている方は少なくないと思います。でも、いざやるとなると「テーマをどのように設定したら良いか分からない」、「自分なりの見方や考え方を持てない」と悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。こうしたことに1人で向き合うのは容易ではありません。1学期の所長カフェは、1人1人が立てた問いや調べてきたことを相互に共有しながら自分なりの見方をつくる・発展させる場としたいと思います。

2020年度2学期には学習の成果をレポート集としてまとめました。2022年度第2学期カフェ終了時には、継続して参加していない方も含め、レポート集第二弾を計画しています。一緒に挑戦してみませんか。少し覗いてみようという方でも歓迎します。関心のある日だけの参加でもかまいません。

4月28日	ガイダンスと交流	7月28日	第3回	課題の発展
5月26日	第1回 興味関心・疑問を語りあう	8月25日	第4回	発表・批評
6月23日	第2回 課題の整理			

— 卒業研究・修士論文ガイダンスのご案内 —

6月18日(土) 13時半～15時半 卒業研究・修士論文を執筆しようと思っている方で、進め方やテーマ設定等で悩んでいる方いませんか。卒業研究・修士論文のガイダンスを実施します。卒業研究・修士論文を書いた方からの体験談を聞く時間を設ける予定です。全体のガイダンスの後に個別の相談にも応じますので、関心のある方はご出席ください。

・卒業研究・修士論文作成のススメ ・体験談を聞く ・個別面談

— 学習相談に応じます —

授業の取り方や試験の取り組み方で悩んでいる方、卒業研究や修士論文の進め方について困っている方もおられると思います。個別相談に応じますので、ご連絡ください。遠方におられるので学習センターまで来るのが大変という方、新型コロナの感染リスクを考えると直接会って相談するのは躊躇するという方、ZOOM等での学習相談もできますので、気軽にご連絡ください。

M E M O

